

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-502796 (P2005-502796A)

【公表日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-004

【出願番号】特願 2003-527185 (P2003-527185)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 6 P 5/00

B 4 1 J 2/01

B 4 1 M 5/00

【F I】

D 0 6 P 5/00 1 1 1 A

D 0 6 P 5/00 1 1 2

D 0 6 P 5/00 1 1 3

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 6 日 (2004.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

布地にパターンをインクジェット印刷する方法であって、
印刷準備のできた布地に前処理溶液を付着させるステップ (14) と、
前記前処理溶液から過剰な水分を蒸発させるステップ (16) と、
前記布地にパターンをインクジェット印刷するステップ (18) と、
前記パターンにおけるインクから過剰な水分を蒸発させるステップ (20) と、
バインダを前記布地に付着させるステップ (22) と、
前記バインダから過剰な水分を蒸発させ、前記バインダを硬化させるステップ (24) と、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の方法において、前記前処理、インク及びバインダから余剰の水分を蒸発させる前記ステップ (16、20、24) は、前記布地を加熱することによって達成されることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 記載の方法において、前記バインダは前記布地を加熱することによって硬化される (24) ことを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 記載の方法において、前記前処理は、インク触媒及び / 又は接着プロモータとして機能するアクリル性ポリマの陽イオン懸濁水溶液であることを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 記載の方法において、前記バインダは前記パターンの上に保護コーティングを

形成し、前記前処理溶液に結合することを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 記載の方法において、前記バインダは、ポリアクリロニトリルの水溶液又はポリアクリロニトリルのラテックスであることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 記載の方法において、前記バインダは、シリコーン・ポリマの水溶液又はシリコーン・ポリマのラテックスであることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 1 記載の方法において、前記前処理及びバインダは、スプレーイング、ローリング、パディング又は水没で構成されるグループの中の 1 つの方法によって前記布地に付着される（14、22）ことを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 1 記載の方法において、前記蒸発させるステップ（16、20、24）は、それぞれが、加熱プレート、加熱空気ブロワ、非加熱空気ブロワ、IR ラジエタ、マイクロウェーブ・ラジエタ及びガス・ヒータで構成されるグループの中の 1 つの装置によって達成されうることを特徴とする方法。

【請求項 10】

布地に印刷する装置であって、

布地にインク・パターンを印刷するインクジェット・プリンタ（64）と、

印刷の前に、前記布地に前処理溶液を付着させるように構成された第 1 の付着アセンブリ（66）と、

前記インクジェット・プリンタにおいて前記インク・パターンをインクジェット印刷する前に、前記前処理溶液から水分を蒸発させるように構成された第 1 の蒸発アセンブリ（68）と、

前記インクジェット・プリンタによる印刷のあとで、前記インク・パターンから過剰な水分を蒸発させるように構成された第 2 の蒸発アセンブリ（70）と、

前記インク・パターンからの水分の蒸発のあとで、バインダ溶液を前記布地に付着させるように構成された第 2 の付着アセンブリ（72）と、

前記バインダ溶液から過剰な水分を蒸発させ、前記バインダ溶液を硬化させるように構成された第 3 の蒸発アセンブリ（74）と、

を備えていることを特徴とする装置。